



第19号
発行所
近畿大学農学部緑友会
広報・編集委員会
編集委員長 北山 隆
631-8505 奈良市中町3327-204
TEL: 0742 (43) 1511
http://www.nara.kindai.ac.jp/

緑友会会長挨拶「卒業生の皆様、

今秋11月3日に緑友会総会を開催します」

農学部緑友会会長

高谷 政広



卒業生の皆様には、平素より農学部緑友会に格別なご支援、ご鞭撻を承り厚く御礼を申し上げます。

今年の冬は比較的寒さが厳しく、2月に入り農学部奈良キャンパスにも雪が沢山積もり阪奈道路が通行止めになる日もありましたが、3月早々

には、キャンパスの北駐車場からウグイスの鳴き声が聞かれ、やはり春が確実に近づいてきていることを感じられました。

近畿大学の大きなニュースの一つに、平成26年度の入学試験において、他大学に先駆けて実施された、近畿大学の入学試験の受験願書システム

のペーパーレス出願手続き(インターネットによるエコ出願)が完全に認知・確立されるところに、主要私立大学一般入試の志願者数が105890人で全国一の志願者数になり、大きな輝かし

ご挨拶

農学部長

宇都宮 直樹



農学部緑友会の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、皆様方には平素から農学部への多大のご支援とご鞭撻を賜り厚くお礼申しあげま

昨年度、近畿大学では受験者数が日本一になりましたが、農学部におきましても、受験者総数は過去最高になりました。4月からは611名の新生と5名の新しい教員を迎えて新年度を開始しております。また、長年の夢でありました体育館の建設が認められ、来春までには完成の予定となっております。体育館が完成すれば、学生の教育効果を高めた、学生や保護者を一堂に集めた入学式や卒業式を実

行できることなどが期待されております。このように奈良キャンパスは少しずつですが充実してきておりますが、これも皆様方が日頃から農学部を応援していただいているおかげと感謝しております。

今や、近畿大学農学部の名前は、近畿圏だけでなく、全国的に知られるようになってきています。しかしながら、これから農学部をさらに発展させるためには、学生の就職に一層力を入れなければならぬなど残された課題は多く残っています。これらの課題解決に向けて農学部教職員一丸となって努力する所存ですので、今後とも、どうかよろしくご指導賜りますようお願い



い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健康をお祈りいたします。

学科の近況

農業生産科学科

学科長

矢野 栄二



当学科では平成26年3月に、長らく本学科の教育・研究にご尽力いただいた園芸植物学研究室の高松善博先生が退職されました。この4月に育種工学研究室の種坂英次先生が教授に昇任されました。ご専門のゴマ、キノコ類の遺伝や育種の分野における益々のご活躍が期待されます。また農業経営経済学研究室に大石卓史講師が着任されました。大石先生は、これまで主に民間シンクタンクで農業や農山村の再生・振興にかかわる教育・研究活動や事業、六次産業化についての支援、人材育成活動に携わってこられました。本学科では、アグリビジネスに関する教育・研究において、大いにリーダーシップを発揮されることが期待されます。今後とも卒業生の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

水産学科

学科長

塚正 泰之



当学科では、本年4月に2名の教員が昇格されました。

学科研究室・教員

農業生産科学科

- 育種工学 (吉田 元信・種坂 英次)
- 園芸植物学 (宇都宮 直樹・神崎 真哉)
- 昆虫生態制御学 (矢野 栄二・香取 郁夫)
- 作物学 (飯嶋 盛雄・山根 浩二)
- 植物感染制御学 (豊田 秀吉・松田 礼・野々村 照雄)
- 植物・人間関係学 (林 孝洋・富 研一)
- 農業経営経済学 (宇山 満・大石 卓史)

水産学科

- 水産増殖学 (太田 博巳・滝井 健二・石橋 泰典)
- 水産生物学 (小林 徹・柳下 直己)
- 水族環境学 (江口 充・永田 恵里奈・谷口 亮人)
- 漁業生産システム (高木 力・光永 靖・鳥澤 真介)
- 水産利用学 (塚正 泰之・安藤 正史・伊藤 智広)
- 水産経済学 (多田 稔・有路 昌彦)

応用生命化学科

- 応用細胞生物学 (森山 達哉・財満 信宏)
- 応用微生物学 (岸本 憲明・倉田 淳志)
- 食品微生物学 (白坂 憲章・福田 泰久)
- 森林生物化学 (田中 裕美・板倉 修司)
- 生物環境学 (飯田 彰・澤邊 昭義・山下 光明)
- 生物制御化学 (松田 一彦・森本 正則・伊原 誠)

食品栄養学科

- 栄養機能学 (米谷 俊・竹森 久美子)
- 栄養教育学 (川西 正子・明神 千穂)
- 給食経営管理学 (富田 圭子・稲村 真弥)
- 公衆栄養学 (伊藤 龍生・郡 俊之・蒲 尚子)
- 生体機能学 (上嶋 繁・安澤 俊紀)
- 食品化学 (渡辺 克美・上田 茂登子)
- 臨床栄養学 (木戸 慎介・上西 梢)

環境管理学科

- 環境化学 (坂上 吉一・森 美穂)
- 環境政策学 (池上 甲一・鶴田 格・前湯 光弘)
- 環境生態学 (澤田 拓夫・ジジ タナゴナ・河内 香織)
- 国際開発・環境学 (八丁 信正・松野 裕)
- 水圏生態学 (細谷 和寿・北川 忠生・早坂 大亮)
- 生態工学 (奥村 博司・阿部 進)

バイオサイエンス学科

- 植物生態機能学 (ネルソン・ヘンリー)
- 植物分子遺伝学 (川崎 努・山口 公志)
- 植物分子生理学 (重岡 成・田茂井 政宏・武田 徹)
- 生命情報工学 (田辺 寛之)
- 天然有機化学 (北山 隆)
- 動物発生工学 (加藤 容子・谷 哲弥)
- 動物分子遺伝学 (佐渡 敬)
- バイオ分子化学 (深澤 慶・大沼 貴之)
- 分子生物学 (内海 龍太郎・加藤 明宣)

太字・新任
——・新研究室

本年11月に近畿大学農学部緑友会第8回総会・懇親会を開催いたします。

漁業生産システム研究室の光永 靖先生が講師から准教授に、水族環境学研究室の永田 恵里奈先生が助教から講師に昇格されました。お二人ともそれぞれの専門分野における益々の活躍が期待されます。

近畿大学水産研究所の名を冠した養殖魚専門店がオープンして知名度が上がったことなどもあり、水産学科を志願する受験者数が農学部で最も多くなっています。本年は日本技術者教育認定機構の資格審査も予定されており、世界水準の教育・研究を行うよう教員が一丸となって努力しております。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

近畿大学農学部卒業のみなさまも、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。みなさまの母校農学部も、ここ最近の近畿大学の発展に大きく寄与しております。社会人となった卒業生の中には、近大農学部OBのつながりをビジネスに活かして活躍の方も大勢いらっしゃいます。

緑友会は、近畿大学農学部とその卒業生と共に歩んで参りました。その設立から20年以上が経ち、このたび近畿大学農学部緑友会第8回総会(平成23年度事業報告・取次決算報告ならびに平成26年度事業計画・予算・人事案)を、平成26年11月3日(祝)正午より近畿大学農学部211教室にて開催いたします。総会終了後には、食堂

において懇親会を参加費無料で開催いたします。この懇親の場は、卒業生同士の情報交換・交流の場でもあります。この機会を是非ご活用頂き、新たなつながりが生まれることを期待しております。懇親会には、現任教員も参加いたしますので、大学と社会のつながりにも貢献できるのではないかと期待しております。ビジネスのみならず、この機会を同窓生との会合の場として利用頂いても良いかと思っております。

総会開催当日は農学部祭が催されており、ご家族の皆様もご一緒して頂いても差し支えないと思います。ぜひ多くの卒業生みなさまの参加をお願い申し上げます。懇親会の参加費は無料です。

準備の都合上、10月14日(火)までに、電子メール、または電話にて出席のご一報を頂ければ幸いです。学科の併せて、卒業年度・学科の

緑友会へのご寄付お願い

このたび緑友会では、会報発行をはじめ卒業生名簿の管理、緑友会賞の授与などの緑友会活動をお願いする次第です。経済状況が厳しい折に誠に恐縮でございますが、緑友会の現状をご理解頂き、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお寄付金は一口5,000円とさせていただきます。お一人様の上限はございません。お振り込みの際には、氏名、卒業年度を合わせてお知らせ頂きますようお願い申し上げます。

〇振込口座
三菱東京UFJ銀行 富雄出張所 普通 3574857
近畿大学農学部 緑友会

ご連絡もお願いいたします。
◇緑友会事務局◇受付
火・金 10:00~16:00
E-MAIL: ryokujim@nara-kindai.ac.jp
電話: 0742-21431
7273 内線(2030)



マスコミで取り上げられ、皆様の多くがご存知のように、平成26年度の入試において本学志願者は関西のみならず関東の有力校を抑えて日本一になりました。当学科もその勢いに乗り、志願者数は堅調に伸びました。当学科では、食品微生物工学研究室の白坂憲章先生と応用細胞生物学研究室の森山達哉先生が教授に昇格されました。研究と教育は両輪であり、質の高い教育を低学年から行えば、それだけハイレベルの研究にとりくむ気持ちと学力が備わります。また、卒業研究や大学院での研究で創造的なテーマに挑戦すれば、その中で学生は研がれます。しかしそれだけでは、学生が幸せな将来をつかむことはできません。農学部的发展には卒業生の皆様のお力添えが必要です。どうかご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



学科長
松田 一彦



学科長
上嶋 繁

当学科では、平成26年4月1日から公衆栄養学研究室に伊藤龍生教授、生体機能学研究室に安澤俊紀契約助手を新たに迎えしました。また、栄養教育学研究室の明神千穂助教が講師に昇格されました。一方、3月末で吉川賢太郎教授と山下里奈契約助手が退職されました。第28回管理栄養士国家試験に61名が受験し、全員が合格して合格率は100%（管理栄養士養成課程（新卒）の平均合格率は91.2%）でありました。本学科の教員が丸となった社会に貢献できる実学志向の人材を育成するとともに、食と栄養を通してヒトの健康維持・増進に寄与する研究成果を発信するよう努力してまいります。今後とも緑友会の皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



学科長
細谷 和海

当学科は10年目を迎え、環境問題をめぐり生態学から社会学まで総合的視点から研



学科長
深溝 慶

旧農芸化学科（天然高分子化学研究室）および当学科（エコマテリアル研究室）におきまして長い間、生物材料学の研究・教育に携わってこられました高谷政広教授が平成二十五年度をもってご退職になりました。高谷先生の温厚なお人柄に惹かれてこれらの研究室に入り、巣立っていった卒業生もたくさんおられることと思います。高谷先生のご業績に心から敬意を表

究・教育に努めてまいりました。里山修復プロジェクトでは教員・学生から市民をも巻き込んだ展開がなされ、里山学連続講座は42回を数えるなどすでに奈良キャンパスは活動拠点となっています。一方、国際交流も活発に行われており、学生の海外研修は東南アジアを中心に実施され、海外からの留学生の数は大学院・学部ともに増えています。昨年度に学科が7研究室、15名体制（里山生態学・澤島河内；水圏生態学・細谷、ジーン、保全生態学・北川、早坂；環境化学・坂上、森；生態工学・奥村、阿部；国際開発・環境学・八丁、松野；環境政策学・池上、前潟、鶴田）に再編されて以来、若手の研究者を中心にめざましい研究成果が挙げられております。環境管理学科の新たな船出に向け、緑友会の皆様のたゆまぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



す次第です。一方、新たなメンバーも加わりました。九大生体防御医学研究所から佐渡敬先生が教授（動物分子遺伝学研究室）として赴任され、また、植物分子遺伝学研究室

農学部緑友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。農学研究科として喜ばしいご報告が2つあります。一つは平成20年に採択されたグローバルCOEプログラム（養殖科学分野・5年間）が最終評価「A」を頂戴したこととです。もう一つは平成23年に採択された私立大学戦略的基盤形成支援事業（植物アグ



「A」評価の近畿大学
大学院農学研究科
大学院農学研究科長
江口 充

現在、農学研究科には144名の院生が在籍しております。大学院生は大学における研究の活力源であり、原動力です。大学院農学研究科担当教員は今後も近畿大学農学部



おかげさまで、緑友会から補助していただいております緑友会賞も平成25年度で第4回目となりました（別表をご参照ください）。これは大学院生たちの大きな励みになっております。心より感謝申し上げます。

学部の教育研究の牽引車となるべく、大学院生諸君と共に邁進してまいりたいと存じます。今後とも引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

H25年度 緑友会賞受賞者一覧

博士課程

専攻	氏名	テーマ
環境管理学専攻	川瀬 成吾	Systematics of <i>Biwia</i> and <i>Microphysogobio</i> (Cyprinidae: Gobioninae) (コイ科カマツカ亜科ゼゼラ属とコブクロカマツカ属の類縁関係)

修士課程

専攻	氏名	テーマ
農業生産科学専攻	村上 巴	トマト葉上トリコームにおけるうどんこ病菌の感染挙動解析
水産学専攻	進藤 有章	滋賀県琵琶湖水系のモデル河川における冷水病菌 <i>Flavobacterium psychrophilum</i> の分布とその遺伝的多様性
	吉田 隆志	クロマグロ養殖生簀羅上のサンゴが細菌の生産性に与える影響
応用生命化学専攻	梅本 宏樹	糸状菌を用いた極長鎖脂肪酸ネルボン酸の発酵生産と機能性セラミドの酵素合成
環境管理学専攻	奥村 大輝	骨格系から見たシロクラハゼグループの類縁関係
バイオサイエンス専攻	山田 健太	植物免疫におけるMAPKカスケードの活性化機構の解明
	加治馬 香苗	天然物を用いた接着剤の合成と木質材料への利用

農学部近況

事務長

佐野 真紀恵



農学部緑友会会員の皆様には、日ごろのご活躍とますますのご発展をお喜び申し上げます。また平素は、近畿大学農学部の発展に多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。「農学」で未来を作る、をテーマに社会や産業のニーズに沿った創造的な研究に取り組む、大きな評価を得ていると自負している昨今でありましたが、来年度には他大学に

西日本2番目となる農学部が開講され、近畿大学農学部の環境も大きく変化し、今後はより一層の学力向上と充実に取り組んでいかなければいけないと強く思っております。施設充実の第一段階とし、来年には多目的ホールとしても使用可能な体育館が建設され、入学式・卒業式を農学部にて執り行なえると嬉しく思っております。秋には恒例の農学部祭が行われます。緑友会の皆様には足をお運びいただき、変化していく農学部を感じていただきたいと思います。最後に緑友会の皆様のご健康をお祈りし、今後ともご協力、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

新任の挨拶

農業生産科学部農業経営学研究室
講師 大石 卓史

農業経営学研究室に所属し、農業や食、地域振興などに関する諸問題に対して、主に社会科学的なアプローチから教育・研究活動を行っています。講義・演習の各科目に加え、アグリビジネスマイスター資格の必修科目である「アグリビジネス実習（3年生向け・通年）」を担当しており、実習圃場のある平群町をはじめとして、日々、学内外の関係者の方々とやりとりをしながら、実習のマネジメントを行っています。

食品栄養学科生体機能学研究室
助手 安澤 俊紀

本年4月より食品栄養学科生体機能学研究室に着任致しました安澤俊紀と申します。

近畿大学農学部食品栄養学科を卒業後、京都府立大学大学院に進学しました。

大学院修了後、縁あって教員として近畿大学に再び戻ってくるようになりました。

これまではミトコンドリアで生合成される天然のアミノ酸である5-アミノレブリン酸の糖尿病病態改善効果の作用機序解明をテーマに研究を行ってきました。農学部では糖尿病に加え、動脈硬化症や血栓症、悪性腫瘍などの生活習慣病について管理栄養士という立場から研究していきます。

食品栄養学科公衆栄養学研究室
教授 伊藤 龍生

本年4月より食品栄養学科の教授に就任いたしました伊藤龍生と申します。これまでは近畿大学医学部病理学教室に在籍し、アルツハイマー病、パーキンソン病や脳障害後の神経組織の修復や再生について病理学的、行動学的、生化学的方面から研究をして参りました。さらに近年ではエビガロカチンなどの機能食品が神経組織修復や再生におよぼす影響についても精力的に研究しています。私どもの研究が臨床応用でき世の中より認知症や高次機能障害を有する

バイオサイエンス学科動物学・遺伝学研究室
教授 佐渡 敬

平成26年4月1日付でバイオサイエンス学科動物分子遺伝学研究室の教授に就任しました佐渡 敬と申します。北海道大学で学位取得後、英国ケンブリッジ大学、および米国マサチューセッツ総合病院でポストドク、国立遺伝学研究所で助教、九州大学で准教授を務めた後、この近畿大学に参りました。皆さんにはあまり馴染みがないかもしれませんが、専門はエビジェネティクスという分野です。これは簡単に言うと、たくさん人の遺伝子の中から必要なものだけを選び、適切に働かせる仕組みのこと、細胞の機能を維持する、あるいは逆に変化させるのに重要な役割を果たします。その仕組みには動植物間で共通な点も多く、私たちの研究は動物の繁殖や育種、さらには農作物の品種改良などにも寄与する基礎を作るものと思っています。講義や実習を通して、学生諸君にエビジェネティクスの面白さとおもしろさを伝えることが重要と考えています。頑張ります。

生化学の手法などを用いて植物の耐病性の初期応答に関する遺伝子、タンパク質などの解析を進めています。今後は研究の進展とともに、近畿大学における教育活動にも尽力していく所存です。至らない点も数多くございますが、一生懸命努力していきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

新

旧

退任の挨拶

前農業生産科学部講師
高松 善博

緑友会の皆様におかれましては、お元気でご活躍のことと存じます。

私が近畿大学農学部にて1970年4月から44年間勤務させて頂いたことができました。この間、農業土木、遺伝・育種、園芸（造園を含む）などの分野で教育・研究に取り組みしました。そのため農業（農薬）に関することを幅広く捉え、考えられようになったと思っています。勤務期間の前半では、活気にあふれた男子学生が多く、懐かしき思い出があります。後半では学部の奈良移

力していただく所存です。至らない点も数多くございますが、一生懸命努力していきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

を活かしながら、健康に美しくあるための食についてお客様に伝えたり、勉強したりの日々を過ごしております。最後にになりましたが、近畿大学農学部のますますのご発展をお祈りいたします。

退職のご挨拶

前バイオサイエンス学科教授
高谷 政広

緑友会の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のことと存じます。

大学長瀬本部キャンパスで11年間、奈良キャンパスで25年間、合わせて36年間の勤務でお世話になりましたが、この期間は、私にとって、かけがえのない大切な教育研究の時間となりました。農芸化学科とバイオサイエンス学科でお世話になり、学生の皆様と一緒に学生実験や卒業研究・ゼミを通して「ものづくり」の楽しさや製品化への厳しさを学ぶことができたことが貴重な体験になりました。さらに3月末の退職に当たり、研究室の卒業生の皆様と北山先生や北山研の学生さんによる「私を囲む会」を開催していただき、望外の喜びとなりました。

退任のご挨拶

前食品栄養学科助手
木村（旧姓 山下）里奈

平成26年3月をもって契約満了により退職いたしました。私は食品栄養学科管理栄養士専攻を卒業し、農学研究科応用生命科学専攻を修了後、食品栄養学科助手として勤務いたしました。12年間、学生として、教員として、農学部の教職員の皆様にご指導いただきましたことを心から感謝しております。在学中に卒業研究と国家試験の勉強の両立を経て得た自身の経験から、在校生に後悔のない学生生活を送ってほしいと思いながら勤務しておりました。

現在、京都にて、美容サロンのセラピストとして勤務しております。私自身にとっても新たな分野での仕事になりますが、農学部で学んだこと

退任のご挨拶

前食品栄養学科教授
吉川 賢太郎

緑友会の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。在職中は、44年間の永きにわたり公私ともご指導と

退職のご挨拶

前教養・基礎教育部門講師
橋本 健一

本年3月で近畿大学を退職いたしました。4年という短い間でしたが、農学部の先生方や事務スタッフの皆様のおかげで、様々なことにチャレンジさせていただき、自分を成長させることができました。心より御礼申し上げます。

着任してすぐ、学部長の宇都宮先生や前主任の三浦先生らと共に、今後の農学部の英語教育について議論したこと、昨日のことのように思い出します。それ以降、現主任の木村先生や他のスタッフと共に、個々の授業やカリキュラム等のシステム構築などで尽力してきました。至らぬ点ばかりでしたが、近畿大学農学部がより良い英語プログラムの提供していく上での一つのステップとなっていることを祈るばかりです。

新しい職場での忙しい日々の中、非常勤講師として引き続き農学部キャンパスを訪れることができることが、この上ない幸せです。退任の挨拶としては不自然かと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



新入生の夢

私の夢

農業生産科学科 一回生

富田 真奈

大学に入学し一人暮らしを始めてしばらくがたちました。自炊をするためにスーパーに行くときさまざまな産地から送られてくる野菜や魚、肉が並んでいるのを目にします。そして野菜を購入するときに「どのくらいの農薬が使われているのだろう。」肉を購入するときに「健康的な環境で育ったのだろうか。」と、見た目や価格だけでなく、さまざまなことを考えるようになりました。そして安全な食べ物を安心して食べることができ、またその食品を食べる健康的に生活することがとても大切であることを改めて実感しました。

私の地元の福井県は有名な「コシヒカリ」が生まれた地

であり全国有数の米所です。

そして今、福井県では「ポストコシヒカリ」の研究が進んでいます。従来のコシヒカリよりも病気や近年の温暖化に強く、環境への負荷が少ない栽培ができる品種の開発が進められています。私の実家でもコシヒカリを生産しており、毎日おいしいコシヒカリを食べて育ちました。だから私はコシヒカリを身近に感じています。そして私は自然が豊かな「日本一幸せな県」と言われる福井県が大好きです。将来は私も「ポストコシヒカリ」の開発に携わり、消費者が安心しておいしく食べられ、かつ生産者も満足いく生産が行えるようなお米の品種を開発したいです。「ポストコシヒカリ」の開発を通じて大好きな福井県をますます元氣にしていきたいと思います。

大学生活には勉強だけでなく

将来の夢と大学での目標

水産学科 一回生

野路 巧

私は自然と魚が大好きなので、魚類の生態系や増殖など専門的な分野について学べる近畿大学農学部水産学科に入學しました。将来の職業をまだはっきりとは思いついておりませんが、在学中に英語の勉強に励み、積極的にTOEICも受験して英語力を伸ばし、いずれば世界で活躍できる水産業界を牽引していくような人物になればと考えています。

また、私には在学中に絶対に達成したい目標の一つあります。それはリトルカブという原付バイクで日本を一周することです。私は旅が大好きで色々なところに行く度に、

人の暖かさに触れては感動し、それを繰り返してきました。

そのため、より多くの人々と触れ合い、色々な人々との交流を通して、人間的にさらに成長したいと考えるようになりました。

これからは全都道府県の人々と友達になれるよう日本をくまなく見てまわりたいです。日本一周の旅の様子を撮影し、動画投稿サイトで紹介しようと考えていますので、多くの人々にその姿を観てもらいたいと思っています。

私の夢

応用生命化学科 一回生

高瀬 兼太

私は将来の夢や、目指しているものはまだはっきりと決まていません。ですが、微生物や、それを用いた発酵食品や技術に興味があります。発酵食品の中でも特に日本酒に興味があります。近年、日本酒は外国から注目を浴びており、その輸出量が増えています。その国々で好みは違いますが、それぞれの味覚に合わせて日本酒を作り、販売も自ら手がけるのは面白そうだなと思っています。

また、大学での講義を受ける中で科学のおもしろさに気付きました。高校では化学に苦手意識を持っていましたが、大学での講義は分かりやすく、つまらないと思うことが無くなりました。最近ではより深く学びたいと思うようになり、これから先、興味の矛先が微生物ではなく化学に向くかもしれません。

繰り返しますが、目指すものははっきりと決まていません。ですが、この大学での4年間で食欲に学び、またよく遊び、視野を広げ、自分の将来を定めていきたいです。

私の夢

食品栄養学科 一回生

高田 翔子

私は昔、自分自身の栄養を考えない食事のせいで、酷く体調を崩してしまつたことがきっかけで栄養に興味を持ちました。しかし、その時は興味を持っただけでそれが進みたいと思う進路になることはありませんでした。それでも今私がこの学科にいるのは高校の時の友だちの一言でした。それは「死ぬまでに一度でいいからそばが食べたい。」という一言でした。私自身食物アレルギーはありません。だから自分が食べたいと思えば食べられます。しかし、食物アレルギーがある人は食べた

くても食べられない。しかもアレルギーのある食品が入っているかを注意しないといけない。そんな人たちが食べられないものを少しでも減らせるようにしたいと思っていました。そして、いつかは、食物アレルギーだけでなく花粉症といったようなアレルギーで苦しむ人の苦しみも少しでも軽減できるようにアレルギーに関する研究に携わりたいです。

ホームカミングデー2014

昨年、1,500人以上の卒業生にご参加いただいたホームカミングデーを今年もオープンキャンパスと同時に開催いたします。青春時代を過ごした母校で卒業生同士の絆を深め、西日本最大のつながりを提供いたします。

- 日 時：9/28 (日)
11:00~16:00 (予定)
- 会 場：近畿大学
東大阪キャンパス
東大阪市小若江3-4-1
(近鉄長瀬駅から徒歩約10分/
近鉄八戸ノ里駅から徒歩約20分・
バス約6分)
- 対 象：卒業生又はそのご家族・
近畿大学教職員
- 入場無料
- 主 催：学校法人近畿大学



私の夢

環境管理学科 一回生

松本 雛子

皆さんは、水族館は好きですか？私は、自然や生き物好きの父に連れられ、幼少の頃には頻りに釣りや水族館に行ったり、家で様々な魚を飼育したりという環境で育ったことや、サイエンスツアーでフィンランドを訪れた事等の影響で、水族館で働き、子供達に環境問題に興味をもってもらうきっかけを与えたいと思うようになりました。国土の約7割が森林というフィンランドの国民は、自然は皆の物であり、皆で保護するものという理念を持っています。そして、学校と、博物館などが密接に協働することで刺激に満ちた学習環境を提供し、幼少の頃から生物多様性の基本を築きながら学べる環境などがありました。四方を海で囲まれ、水産物消費国上位の日本にとって、海洋の自然保護は益々重要になり、水族館の教育機能の役割も、限らない可能性を持っているように思えます。水族館への就職は狭き門ですが、夢は広がるばかりです。この夢に近づけるよう、学芸員の資格を取得し、自然溢れるキャンパスで、卓上の学問だけではなく、実践的な環境・自然学を学んでいきたいと思っています。

新入生夢

バイオサイエンス学科 一回生

大西 純人

私は、幼いころから農業について学んで、将来は農家になりたいと思っていました。しかし、大学生になって講義を受けるにつれ食糧問題の話に興味を持ち、いろいろと調べると、農家がバイオメジャーなどに押し付けられて遺伝子組み換え植物や農薬を買わされる現実を知りました。このまま農薬や遺伝子組み換え植物を使い続けると、食の安全を脅かすだけでなく、生態系を乱すことになりました。さらに、遺伝子組み換え植物についてバイオメジャーが特許で独占していることに私は憤りました。農家の立場も考えずに、育てた作物を買いたたくなると、不公平である。だからこそ、私は将来環境に優しく、人にも優しい遺伝子組み換え植物を開発しつつ、農業をしたいと思いました。未知数ですが、私が農業の未来を変えていく誰かやる！という思いでがんばりたいです。まだまだ、知識不足ですが、大学生活の中で学び、夢に生かせるように努力したいと思います。





成長の日々
農業生産科学科（平成23年度卒）
堀池 走汰

私は2年前に大学を卒業し、神畑養魚株式会社に入社しました。在学中は育種工学研究室で、サツマイモの細胞融合について研究し、卒業後は生き物に携わることができる仕事に就きたいと考えていたので、この会社に入社することができ嬉しく思っています。昔から生き物が好きでしたが、入社してみるとまわりの人たちはほとんどが水産学科を卒業しており、魚に詳しくない私は少し焦りを感じました。しかし、魚の管理をしていく中で、知識・技術ともに身に付いてきて、焦りは無くなっていきました。現在は東京支店で水草グループに所属しており、主な業務内容として入荷・管理・出荷・発注を行なっています。発注の際は海外と英語で通信するのですが、金額が大きいこともあり、任されているんだという責任感を強く感じます。今後また異なるグループに配属されることもあると思いますが、そこで新たに自分ができること

を増やしていけたらなと思っています。

動物と共にする仕事
水産学科（平成24年度卒）
大植 伸之

私は現在、静岡県沼津市にある伊豆三津シーパラダイスという水族館で飼育職、ショーチームスタッフとして働いています。仕事内容は、ショーチームに所属する動物の健康管理やトレーニング、給餌、水質管理、取材対応や近隣の学校への移動水族館など多岐にわたりますが、一番はなんと言ってもショーに出演することです。ショーに出演するということは動物に関する知識はもちろんのことながら、動物を扱う技術や、ステージ上での立ち振る舞いなども必要となるため、先輩方の手ほどきを受けながら日々努力しています。



滑って遊んでいる個体など、初めて見る雪にたいしての反応も様々でした。そんな個性的な動物たちの魅力を伝えられるショーをお客様に見せられるよう、一歩一歩成長していきたいです。

研究生生活を活かせる仕事
農学研究科応用生命化学専攻（平成23年度卒）
隼田 陽介

私は応用生命化学専攻森林生物化学研究室を卒業後、和研薬株式会社（京都市左京区一乗寺西水干町17番地）に就職し、研究を行っている大学や企業へ研究用試薬などの営業をしています。私の営業先は主に大学で、近畿大学農学部も昨年度から営業先として回らせて頂いています。私は

和研薬に入社し、これまでユーザーとして関わっていた業界が、ディーラーの立場に変わり、所属していた研究室の先生や先輩、研究者の方の支援ができるようになりました。私自身3年間研究を行ってききましたが、満足のいく結果は得られませんでした。就職して3年経ちますが、研究を行っている方々を見ていると、学生のうちにもっと頑張っておけば良かったと後悔することがあります。学生という短い時間の中で満足のいく結果を得ることは大変だと思いますが、私のように後悔のない研究生生活を送ってほしいので、よりよい環境で研究を行ってもらえるように、出来る限りのお手伝いをしていきたいと思っています。



自分の事を好きになれる進路
食品栄養学科（平成22年度卒）
橋本亜由子

私は国立病院機構に所属し、今年で病院栄養士4年目を迎えました。「人と関わりたい」と思い選んだ職場での一日は「患者さんの為にどうすれば良い？何ができた？」と悩む毎日です。一緒に桜を見た患者さんが亡くなってしまった日、意志疎通がとれなくなる日が来たりと、胸の詰まる思いをする事もあります。ですが、衰弱し全く食べられなかった患者さんが笑顔で過ごされている時や、栄養指導をした患者さんから検査値が良くなったから見てほしいと呼ばれた時、名前を覚えていただいた時や、患者さんにいただいたお手紙は私の宝物で、読み返すたびに涙が出るほど幸せな気持ちになります。

進路を決める際は「自分の実力では足りない」選択をするようにしています。向上心は家族や大学時代の大好きな友人が支えてくれていました。今の仕事はいくら勉強しても足りませんが、大きな壁にぶち当たった際に、前進できる自分が好きです。これから進路を決める皆さん、自分を好きになれる進路（仕事）に向けて頑張ってください。

飼育員の仕事
農学研究科環境電学専攻（平成24年度卒）
小淵 貴洋

私は平成25年より沖繩美ら海水族館に飼育員として勤務しております。水族館内の飼育担当はいくつかに分かれているのですが、私の飼育担当は「黒潮の海大水槽」です。国内最大であるこの水槽には、ジンベエザメやナンヨウマンタをはじめとする大型の魚が展示されています。また、予備水槽にて様々な生物をこれからの展示に向けて飼育しています。



佐藤薬品工業株式会社
バイオサイエンス学科（平成24年度卒）
大平 正義

私は奈良県の佐藤薬品工業株式会社に勤めています。そこでは開発部員として、製剤設計の仕事に携わっています。有効成分とその他の添加剤を用いて、製品の試作や生産機へのスケールアップ検討など

を行っています。また、試作した製品に安定した品質があるかどうかの試験も行っています。新しい製剤機器や試験方法を学びながら、一歩一歩、目的の製剤へ近づいていくことがやりがいです。検討や試作の連続で1つ1つの段階をクリアし、やがて製剤化できた時には大きな達成感があります。新しいことを学び、そ

の経験を生かして、また新たなチャレンジができるのが楽しみです。チャンスがあれば、どんなにつらい仕事にも初心を忘れず積極的に取り組んでいきたいと思っています。まだまだ未熟なため学ぶことが多く先輩社員の方々にご指導していただきながら、いつの日か製薬のプロになることを夢見て日々精進しています。

在学生だより

大学生活の中で

農業生産科学科
育種工学研究室四回生
稲里 栄

研究室分属時、私は特に何の実験がしたいという目標を持たずに育種工学研究室に入りました。そして先輩方の卒業研究発表を見学した際にゴマのアレルゲンについての研究に興味をもち、現在私はゴマのアレルゲンの研究を行っています。実験テーマが決まった当初は自分の興味のある研究ができるので嬉しく思っていました。実際に実験をしていくとなかなか思い通りの結果が出せず悩む日が続きました。先生や先輩方に何度も相談し、アドバイスをしていただき、やっと徐々にではありますが結果が出るようになりました。自分一人ではもった時間がかかっていたと思います。

また、現在研究している「ニホンナマズを市場に普及させる研究」をもっと追究して研究するため大学院に進学したいと考えています。

学問以外にも部活動等を通じて多くの友人に出会い、貴重な経験をさせて頂きました。大学生活でできた友人との関係は、卒業しても継続したいと考えています。

残りの大学生活を有意義に過ごし、将来は、学生生活で得た経験を活かして社会に貢献できるような社会人となり、最終的には夢である「海外に負けない養殖会社」を経営したいと考えています。

私の情熱

応用生命科学学科
応用微生物学研究室四回生
沼田 哲弥

私は学生生活で頑張ったことの一つにクラブ活動があります。私の所属している放送部では放送活動を行っており、3つの部署で運営しています。原稿を読むアナウンス、原稿を書き曲と構成を考える制作、音の大きさや高さを調節する技術の3つです。私が所属し

ていたのはアナウンスと制作です。特に制作は他の部署より準備が大変で私も何度か辛いと思うことがありました。しかし原稿の書く内容と流す曲を決めたり、他の部署を取りまとめたりして自分で番組を作っているという楽しさがありました。その為次の番組では効果音を入れてみたいとかラジオドラマを作りたいとかいろんなアイデアが溢れ出してきました。それを実現するために何が必要なのかということに常に考え続けました。頭の中で実現可能なのかをシミュレートし、いざ実行可能ならば準備をしました。最初は準備時間まで想定しておらず音源を探すのに時間がかかりギリギリに仕上げるということをやっていました。CD200枚くらいは音源をあさっていた気がします。そんな苦労を重ねて1つの番組を完成させた時は感動でした。私はあと半年で卒業し社会人として働きます。どんな仕事をやるかはまだ分かりませんが自分なりのやりがいを見つけて情熱を注いでいきたいです。

これまでの学生生活で得た経験

水産学科
水産経営学研究室四回生
和田 好平

私は、高校生1年生の時に大島実験場でクロマグロの完全養殖を見学させて頂きました。その時に大学で水産学を勉強したいと思い入学しました。入学すると、水産に関する幅広い分野を学ぶことができ、その中でも現在は、基本的な経済学、経営学から水産分野に特化した専門的な経済学、経営学を学んでいます。



私はこの学科を選んだ理由は、病院で管理栄養士として働きたかったからです。高校時代に長い闘病生活を経験し、その時に健康であることの大切さを実感して、この道を選びました。3年前の入学時は、病気をしていたため周りの友人より2年上でしかも少数派の「男」ということで不安に思うことが多かったのですが、友達もたくさんできて楽しく大学生活を送ることができています。

現在所属している研究室での卒業研究では、同じ近畿大学のアメリカンフットボール

大学生最後の年を迎えて

食品栄養学科
栄養教育研究室四回生
三田 薫

部などの選手へ栄養サポートを行っています。選手と接する機会が多く、「コミュニケーション力」が重要であるため、この経験は将来必ず役立つと思っています。

学生生活最後の1年、ここまで育ててくれた周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、悔いのないように過ごしたいと思っています。



である「近畿大学バスバスターズ」に参加することに決めました。「近畿大学バスバスターズ」は、全国ブラックバス防除市民ネットワーク（ノーバスターズ）に加盟している任意学生団体で、主に近畿大学農学部奈良キャンパス周辺で活動し、ブラックバスやブルーギルをはじめとした外来生物の駆除に取り組んでいます。私は主にキャンパス内の調整池と、「琵琶湖を戻す会」主催の「外来魚駆除大会」の外来種の駆除活動に参加しました。現在ではバスバスターズは引退してしまいましたが、その活動の続きとして環境政策学研究室で外来種を肥料として堆肥化するコンポスト活動を行っています。これから就職活動、卒業論文などまだまだ越えなければならぬ壁はありますが、残りの少ない大学生活で自分に出ることを頑張りたいです。

大学生活を振り返って

バイオサイエンス学科
動物発生工学研究室四回生
田口 美里

た。二回生の夏からの一年間は、副部長として活動しました。部長と共に六十人近い部員をまとめていくのは、これまでこのような立場を経験したことがなかった私にとって、想像以上に大変で、時にはうまくいかないことや、意見がぶつかった喧嘩になることもありましたが、未熟な私をいつも支えてくれました。今となってはそのような経験が良い思い出となり、グループをまとめる難しさ、部員みんなの協力や支えが重要であるということを実感しました。

現在私は、動物発生工学研究室に所属しており、哺乳動物の初期発生に関する実験と勉強の毎日を過ごしています。研究室に通い始めたころは、慣れない環境に戸惑うことや、勉強内容の難しさや量の多さに圧倒されることもありましたが、今ではこの生活にも少しずつ慣れてきたように思います。

私の将来の夢は、胚培養士になり不妊治療に携わっていくことです。大学入学当初から興味はありましたが、研究室の卒業生で実際に胚培養士として働いておられる先輩方の話を聞く機会もあり、胚培養士として働きたいという思いがより強くなりました。そのためにも大学院に進学し、先生や先輩方の指導の下、多くの経験、知識、技術を習得して将来に生かせるよう日々努力していきたいと思っています。

農学部らしい学生生活を

環境政策学研究室四回生
坂本 可成

私は入学してから初めての1年間は、サークル活動に参加しませんでした。しかし、2回生から「農学部らしい学生生活」と思い、非公認団体



株式会社 アーマリン近大

アーマリン近大は安心・安全・美味しい魚を提供します

近畿大学 水産研究所

大阪店
大阪市北区大塚町3-1
グランフロント大阪北館6階
TEL:06-6485-7103
ランチ 11:00~15:00
D.O. 14:00
ディナー 17:00~23:00
D.O. 22:00

銀座店
東京都中央区銀座6丁目2番先
東京高層ビル地下2階
TEL:03-6228-5863
ランチ 11:30~15:00
D.O. 14:00
ディナー 17:00~23:00
D.O. 22:00

【本社】〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1-5
TEL:0739-42-4116 FAX:0739-42-2600
Mail:info@am-marin.co.jp
URL:http://www.am-marin.co.jp

あなたの企業のお手伝い
photo shop **イナダカメラ**

21世紀へ
ニューメディア
プリント

八尾市服部川7丁目153
TEL 0729 (41) 0909 / FAX 0729 (41) 0934
携帯 09037290909
代表者 稲田 忠明 (農学科 昭和43年度卒)

「いいね!」は
現地でね。

城崎マリンワールド
Small discoveries in the big ocean.

大学院生だより

大学院への進学、 そして研究の日々

農業生産科学専攻博士前期課程
畜産工学研究室
岸川 彰宏

中学・高校の時から理科の実験が好きで、そんなとなし理由から理系大学（農学部）に入学したわけですが、卒業研究のなかで物事を論理立てて考えること、研究に対して知識をつけることなど自分の研究に向き合うことがとても楽しく、大学院への進学を決めました。現在、所属する畜産工学研究室ではゴマの油脂生産に関与する遺伝子の

機能解析をテーマに実験を行っています。ゴマからより高品質のゴマ油をとるために、

ゴマの油脂生産機構を解明しようという目的で実験をするわけですが、それには学部生の時よりも専門的な知識・スキルが必要です。もちろん毎日大変です。しかし、大変な分やりがいもあります。大学院では実験スキルだけではなく、発表スキル、コミュニケーション能力、考察力といろいろ身につきます。先生と研究について議論したり、後輩たちのサポートをしたり、時にはサポートされたりと

自己成長ができる 環境を求めて

水産学専攻博士前期課程
水産利用学
住 慶太郎

私は今年の4月から水産学専攻水産利用学研究室に進学し、水産加工時に副産物として発生するハモ骨からガン細胞の増殖を抑制する物質を探

索しています。私は小さい頃から魚が好きなので、後輩の指導や実験講義補助、学会発表など学内外での存在感も見出さなくてはなりません。卒業するまで残り一年半と研究をするには短い時間ですが、悔いの残らないよう日々邁進してまいります。

毎日充実で成長の日々を送っています。

科内にあることを知り、この研究室に飛び込みました。卒業研究に取り組むと、多くの興味深い現象に向かい合うことができたとともに「引き続き追究したい」という気持ちが高まり、大学院への進学となりました。

学部生時代では、研究は教えてもらえばかりの受け身だったのに対して、大学院では自らが試行錯誤して実験を進めていかなくてはなりません。また、大学院では自分の研究だけではなく、後輩の指導や実験講義補助、学会発表など学内外での存在感も見出さなくてはなりません。卒業するまで残り一年半と研究をするには短い時間ですが、悔いの残らないよう日々邁進してまいります。

大学院に進学して

応用生命科学専攻博士前期課程
生物制御化学研究室
中谷 有里

私は「もつと様々なことに挑戦したい！」と思い、大学院進学を決意しました。学部生のときにはできなかったことを経験し、もちろん、勉学の方は大変充実しています。ですが、大学院に進学して得られたものは勉学の知識だけではなく、先生方、先輩方、同期、後輩と私を支えてくださる多くの方々がいまいました。就職活動で悩んでいるときには、励ましの言葉をいただき、実験がうまくいかず落ち込んでいるときには的確なアドバイスをいただいています。「実験」と「休憩」のけじめをつけて、楽しいお話をすることもしばしば。このように自分を支えてくださる多くの方々の存在は大きく、これまでどんな困難も乗り越えることができました。この出会いにより、言葉ではうまく言い表せない「人間としての考え方」など



後悔させない」と力強い言葉を頂き、院に残る決断ができました。現在、私は消石灰散布の検証を行っています。消石灰散布は鳥インフルエンザ対策などにも用いられる一般的な消毒法です。しかし、大量散布の実績があるにも関わらず生態系への影響評価は十分ではありません。研究の最終目標は、消毒環境を分類し、病原菌は殺すが生態系には影響の少ない散布量の算出を目指しています。大学院では日々、自分の不勉強を思い知りながら、学会や研究室内の仕事に奔走しています。就職か進学か、とても悩みましたが、切磋琢磨しながら励みあえる同期、やる気があり研究室に活気と勢いをくれる後輩達、未熟な私達を温かく全力で支えてくださる先生方と共に過ごせるこの研究室に居られることを今はとても幸せに感じています。

大学院に進学して

バイオサイエンス専攻博士前期課程
植物分子生理学研究室
高田 梨沙

効果を検証し、人々の健康増進に役立てることを目標に掲げ、研究を行っています。機能性成分の実用化のためにはその作用機序の解明からヒトに対する効果の検証まで、細胞・動物・ヒトと様々な実験系での多くの説得力あるデータの蓄積が必要です。とても大変な研究ですが、社会に貢献できるような努力したいと思っています。この2年間で「研究のできる管理栄養士」となり、社会に出て周りから求められる存在になれるように頑張ります。

大学院に進学して

応用生命科学専攻博士前期課程
栄養機能学研究室
大久保麻里

多くの友達が就職する中、進学を決めたのは「私にしか出来ない仕事」を得るためです。近年食の重要性が目玉され、管理栄養士の活躍するフィールドが増えつつあります。しかし、栄養管理が必要とされながらもまだ管理栄養士が足を踏み入れていない分野もあると思います。そんな未開拓の分野に管理栄養士が活躍する場を広げたいというのが私の密かな野望です。私が所属する研究室では、食品に含まれる機能性成分の

大学院進学を決めて

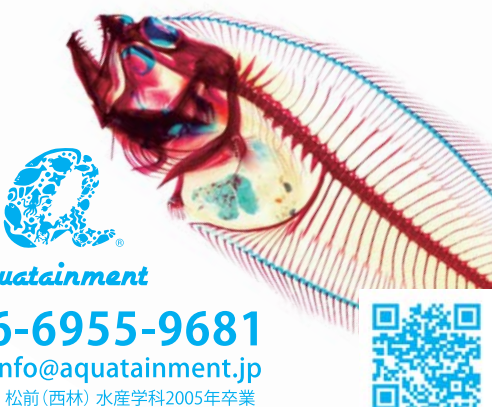
環境管理科学専攻博士前期課程
環境化学研究室
南 純一

私は大学院に進学するか、就職するかを4回生の12月まで悩んでいました。そんな中、研究室の先生方から「研究に対して情熱があるなら絶対に

朝から晩まで忙しくも楽しく充実した毎日を送っていました。大学院生活で学べることは研究の知識だけではなく、先輩との交流、学会やセミナー発表の機会が多くなるので、前々度話したように付きました。約50人が所属する研究室です。その中でどのように動けば周りの為になるのか、今自分が出ること何かなどを常に

考えるようになり、集団生活における適応力も身につきました。何より、いつも親身になって考えて下さる先生や先輩、励ましてくれる友人や後輩と共に過ごした時間は、私の研究室生活のかけがえのない財産です。現在の研究が将来の役に立つように、修了までの半年間、より一層頑張ろうと思います。

いのちをつなぐ企業 株式会社アクアテイメント



aquataiment

06-6955-9681

info@aquataiment.jp

代表 松前(西林) 水産学専攻2005年卒業



緑友会名簿訂正 (変更) 届

氏名	卒業学科	年度
所属研究室		
現住所		
勤務先		
会社名	住所	

住所等間違っていた、あるいは変更がある場合、この用紙を緑友会事務局までお送りください。お電話、メールでお知らせいただいても結構です。
連絡先：〒631-8505 奈良市中町3327-204 近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273(内線2030) メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

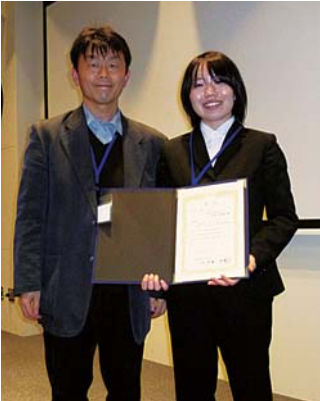
原稿募集

会員の皆様から原稿を募集します。題は自由です。緑友会事務局又は、研究室の先生宛に御送付下さい。

教 員 ・ 学 生 の 受 賞



森美穂講師 (右)



平岩和紗さん (右)



川端博美さん (右)

教員

平成25年11月以降 (学年は受賞当時、受賞日順に記載)

受賞者	所属 (受賞時)	受賞学会	受賞内容	タ イ ト ル
早坂 大亮	環境管理学科 講師	日本農薬学会	奨励賞	水田メソコスムによる生物群集に及ぼす浸透移行性殺虫剤の影響に関する研究
早坂 大亮	環境管理学科 講師	公益財団法人 食品農医薬品安全性評価センター	望月喜多司記念奨励賞	水田メソコスムによる生物群集に及ぼす浸透移行性殺虫剤の影響に関する研究
竹森久美子	食品栄養学科 講師	第11回日本小児栄養研究会	優秀演題	低出生体重ラットの糖・脂質代謝異常発症に対するL-グルタミン酸ナトリウム投与の影響
澤邊 昭義	応用生命化学科 准教授	食生活研究会	優秀論文賞	成人男性を対象とした、アルギン酸カルシウム含有食品の単回摂取による食後の血中中性脂肪値および血糖値に及ぼす影響
森 美穂	環境管理学科 講師	日本防菌防黴学会 第42回通常総会	平成25年度論文賞	Biofilm-Forming Activity of Bacteria Isolated from Toilet Bowl Biofilms and the Bactericidal Activity of Disinfectants against The Isolates

学生

受賞者	所属 (受賞時)	受賞学会	受賞内容	タ イ ト ル
竹中 祥子	農学研究科 バイオサイエンス専攻 M 2	第10回 アジア・太平洋 キチン・キトサン国際 シンポジウム	ポスター賞	Interaction of partially N-acetylated chitooligosaccharides with a family GH19 chitinase from moss Bryum coronatum
新家 粧子	農学研究科 バイオサイエンス専攻 D 2	第10回 アジア・太平洋 キチン・キトサン国際 シンポジウム	ポスター賞	Binding Mode of Chitosan Oligosaccharides to Novel Chitosan-Specific Carbohydrate-Binding Modules (CBM32) of a Chitosanase from Paenibacillus sp. IK-5
川端 博美	農学研究科 応用生命化学専攻 M 2	4th International Conference and Exhibition on Analytical and Bioanalytical Techniques	ベストポスター賞	Evaluation of the alpha-glucosidase inhibitory activity of flavonoids in the peelings of Citrus Dekopon [(Citrus unshiu × C. Sinensis) × C.Reticulata]
加治馬香苗	農学研究科 バイオサイエンス専攻 M 2	第31回日本木材加工技術協会年次大会	大会特別賞	天然物を用いた接着剤の合成とコルク混合PBの作製
平岩 和紗	農学研究科 バイオサイエンス専攻 M 2	第17回生体触媒化学シンポジウム	ポスター賞	リパーゼ触媒を用いた2-メチルシクロアルカノールの立体選択性
川瀬 成吾 木村 亮太	農学研究科 環境管理学専攻 (川瀬成吾) D 2	関西自然保護機構	関西自然保護機構 第十二回四手井綱英記念賞	淀川流域におけるヨドゼゼラの分布域の退縮
新家 粧子	農学研究科 バイオサイエンス専攻 D 2	環境、エネルギー、材料に関する国際シンポジウム (KIFEE)	若手優秀発表賞	Binding Mode of Chitosan Oligosaccharides to Novel Chitosan-Specific Carbohydrate-Binding Modules (CBM32) of a Chitosanase from Paenibacillus sp. IK-5



第6回 緑友会総会風景 平成20年 5 月25日(日) [第13号緑友会会報より引用]

農学部 学生支援課
課長補佐 鐘ヶ江良鳳

農学部生の進路選択

今春の就職環境は、昨年よりも若干改善の傾向が見られました。リクルートキャリアの調査によると、全国の大学4年生の就職希望者のうち、14年3月時点での就職内定率は91・5%で、前年同月の88・5%に比べて3・0ポイント高くなったということです。来春卒業予定の現4年生については、昨年12月1日に始まり、景況感の改善もあつて

活発な就職・採用活動がおこなわれているところですが、16年3月卒業予定の現3年生については、就職活動のスケジュールが大幅に変更になります。就職情報サイトでのエントリー解禁が3年生の3月から、面接等の選考は4年生の8月からにそれぞれ後ろ倒しとなります。私たちスタッフも変化に柔軟に対応できるよう努めます。

最近、企業の採用担当者の来校が増えています。近畿大学農学部生を対象にした求人票を持参されるのですが、その際、OB・OGの方たちの活躍が話題に上ることが多いです。職場でも上司先輩に

進路選択について、「やりたいことがわからない」「自分ができる仕事に向いているのかわからない」といった相談を受けることがあります。うちから、新入生オリエンテーションや基礎ゼミに就職スタッフが出向いて話す機会を設けています。その目的は、世の中の動きを知る、多様な

かわいがられ、仕事も粘り強く取り組んでいると高い評価を受けていると聞き、大変うれしく思っています。そうした活躍のおかげで、「近大生を採用したい」と学内での企業説明会や選考会の開催に繋がっています。

価値観に触れる、自律的に行動する、を意識して学生生活を過ごしてもらうことです。これらのことに意識的に取り組むことで、社会に必要な汎用的能力が培われると考えています。はじめから正解が決まっていることばかりではありません。まずは社会へ飛び出さず、想定外の出来事や未知の仕事に出会い、それに打ち込むことではじめて見えてくるものもあると思います。そ

うした人生の転機で決断を積み重ねて、後から振り返ってみると自分の進んできた道が轍(「キャリア」となり「これが天職だった」と思えるのではないでしようか。これから社会へ出ようとする学生の皆さんには、ぜひ自分の意志で一歩踏み出して、これからの日本・世界を支える人材になって欲しいと願っています。

訃報

国際資源管理学科 名誉教授 倉田亨先生が逝去されました。(平成二十六年四月)ご冥福をお祈りします。

平成25年度近畿大学農学部緑友会事業報告

月 日	項 目	場 所
4. 16	運営委員会	第2応接室
5. 17	終身会費納付書発送 (628通)	
6. 22	幹事会 1) 平成24年度事業報告 2) 平成24年度決算報告 3) 平成25年度事業計画 (案) 4) 平成25年度予算 (案) 5) その他	第1会議室
8. 28	終身会費納付書2回目発送 (396通)	
9. 6	在学生名簿調査完了	
12. 20	会報第17号会員へ発送	
平成26年 1. 17	終身会費納付書3回目発送 (261通)	
1. 17	終身会費未納者を6学科に通知	
3. 4	委員会	C会議室
3. 20	緑友会賞 授与	

平成25年度近畿大学農学部緑友会 (卒業者部会) 決算

(単位: 円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	3,619,635	郵便費	1,281,339
終身会費 (繰越5名分)	50,000	印刷複写費	1,419,490
終身会費	4,080,000	会議会合費	68,963
広告掲載料	80,000	人件費	1,184,346
会報印刷・郵送代の負担金 (学生部会より在学生分)	268,900	緑友会賞	100,000
利 息	745	雑費	170,179
		支出の部計	4,224,317
		次年度繰越金	3,874,963
合 計	8,099,280	合 計	8,099,280

会計幹事 吉川賢太郎 会計幹事 松田 克礼
上記のとおり、監査いたしました結果適正であります。
平成26年3月31日

監 事 小林 徹
監 事 武田 徹